

お母さんの能代弁

秋田県 能代市立浅内小学校 二年 おおつか 大塚 さら 咲來

お父さんとわたしが、

秋田市から

おじいちゃん、おばあちゃんの能代の家に

ひっこして来たのは四年前。

「能代ばあば」を

「お母さん」と

よぶようになったのは、

それからすぐ。

お母さんの話し方は、

ふだんは学校の先生のように

やさしい言葉だけど、

こうふんした時は、

ものすごく能代弁でしゃべる。

朝、目ざまし時計がなっても

おきれなかった時、

一回目のお母さんは、

「咲來、時間だよー。」

と、まだ少しやさしい声。

それでもまだふとんの中で

もぞもぞしていると、

二回目のお母さんは、

「早く、おぎれってばー。」

と能代弁全かいの

いかりの声にかわって

わたしに、おそいかかって来る。

やばい。

しゅうだんとう校で

六時におきなきやいけない朝は、

いつもこんなかんじ。

わたしには好きな能代弁がある。

「へばな。」

さようならをする時

「バイバイ。」の代わりに

「へばなー。」

と、えがおで言うのと、

さびしさが、半分になるから好き。

今日も、お母さんといっしょに、

「へばな。」